

第2回流域観察会を行いました

第2回天神川流域観察会を10月4日(日)に行い、24名の方に参加を頂きました。前日まで雨模様でしたが、当日はさわやかな秋晴れとなり、絶好の行事日和となりました。

今年は、三徳川流域の上流で、河川・砂防事業の勉強や砂防堰堤の見学、自然観察を行いました。

また、今年は、天神川流域会議に参加されている「三朝温泉かじか蛙保存研究会」の創立30周年にあたり、その記念行事にも参加しました。ブナやモミジ等の植樹を通して他の団体の方々と交流を深めました。



車中で、天神川流域の河川事業や砂防事業の状況について学習しました。



▲森本会長の解説を聞きながら、植樹した場所の周辺にある草木の観察をしました。



みんなで記念撮影



三朝温泉かじか蛙保存研究会ほかのみなさんと、全部で200本のブナやモミジ等を植えました。



▲三朝東小学校の校長さんの講演です。魚の視点からみた天神川の姿は、とても興味深いものでした。



三朝の温泉街・住宅地のすぐ近くに作られた向沢田砂防堰堤を見学しました。堰堤のコンクリートが露出せず、植物で覆われるようにして環境に配慮したのになっています。